

曲亭馮琴草稿

曲亭主人口授編
一陽衛豐國函

新局玉石齋
訓卷之壹

第七版

文溪生書梓



八三
4308
5止

新局玉石童子訓卷之三十一

東起 曲亭主人口授編次



第六十一回

猴子言ひ食て巧宿六小説く
駉馬暗し狂て一婦人を救ふ

前回の事、具あつて、再説未朱之介、暗賢ハ乾父吾足齋許潜入、
大繁ハ彼を殺せしむ。阿夏の老芋ハ慌しく、賊有々々と叫び、
つじ薬籠さへ鎮火着さへ、両方小傘ささち鳴く。緯の躰、近藤あり、
津同屋の主人ハさらあり、旅客までも驚死覚つ成起し、
庭付ひ小入り、
ちと勢ひ斯のどろあけ、朱之介ハ逃る小路あり、
雲時庭ある洞井ハ、
外視を定観ひ、
幸しく板振ハ乗、
馳る程、
小我を追来る人、
まやると、
数回後、
視回きども、
今物音と、
听、
僅小、
心落着

郷小菅笠と行包状。之きふ合手んと隠指と。圓通河原小末て着ふ。
建る材木の蔭ふも。那二品ハ果てゆ。俺東西のつと劇。祇包状
脊より。まけて前へ引結び。笠をも隠し。須臾喘氣駐め
し。吐裏小憶ふや。今稔ハ星繁の善うむと。信まで小間の死の
久響少ハ悪魔の獲せと。世小罕ありけ。奇薬ハ不用意かて。て
俺身をか。晩福さ。不治の難瘡忽地愈。母子再會の時を。ぼ
夫等の倖ハ。親族及。他人小劣き。吾足齋ガ各普ある。乾
父面。約束の拘神の價。百両金。踏ま。只ハ已死と。那金九所を
哄誘。計較。一。飛禽の斑鳩の此角と。粗語ハ。熟。のせ。二裏
二百九十五両の金ハ。鈍や慌。逃。死。柱の釘。掛。留。ぬ。紐。の。残。り
今尚。寧。晩福。肩。馳。も。出。六。些。の。盤。纏。ハ。ゆ。不。渠。ハ。不。思

談小深痰ハ。負。憑。一。盆。九。搦。捕。ま。緯。威。画。餅。と。あり。ハ。什。度
什。度。又。何。夏。也。是。昔。の。夏。の。條。ハ。乾。井。の。裡。小。解。居。り。听。王。瓜
は。り。今。あ。も。福。富。村。ある。阿。健。小。忠。二。ハ。さ。り。又。か。の。十三。屋。九
四。郎。さ。ま。乾。見。四。摠。三。那。日。坐。あ。在。は。る。あ。ん。开。ハ。左。ま。き。右。も。ま。き
咱。小。鬼。さ。ま。夏。ハ。ゆ。六。盆。九。と。俺。小。彼。折。不。捕。ら。ま。ぬ。以。得。と。く
連。く。這。地。次。逃。去。里。周。防。の。叔。公。與。房。小。便。らん。知。石。今。身。小。は。く
物。と。り。六。奶。の。親。と。圓。金。五。枚。副。衣。の。綿。衣。一。重。の。其。餘。ハ。雨。衣。を
あ。兵。疑。五。両。の。金。を。も。盤。纏。小。緯。ハ。缺。む。も。ゆ。去。頃。三。石。あ。り
小。父。公。小。環。會。ぬ。と。死。言。ま。す。夏。ハ。ゆ。る。もの。を。任。る。形。容。わ。阿。容
阿。容。と。爾。も。周。防。の。山。口。ある。陶。性。の。猶。子。あり。と。名。告。も。做。ハ。那
大人。の。云。甲。斐。命。と。名。憶。ハ。ま。ん。庶。莫。叔。公。ハ。骨。肉。あり。歎。ハ。美。諾。ぬ。ん

あまども。然て内外の甲乙も。俺身の甚く見賤され。後々も
肩身の狭う。蓋三池邨ある宿六の復かの拘神の證人あり。今その
甲斐も死に似と多。渠其性愚直あり。里小田さ。庄客あれば此の
野あら。大寧宿六許赴は。箇様々小哄誘ハ身の皮繕不足
もあらん。嗟ある哉。ありき。と旬小計較不敵の本性河原不建
と。材木の蔭よりをり立出つ井里より路を横ぎ。足小ぢせ。細
流。三池邨をいそげ。借是りの譚。前版四十四回及六十回。
巻左小既小説と。と。首尾侶小租同ト。遮莫四十四回。今迄六十一
回の間小那部領の長段り。相遠ざら。夏十。七八巻。小及ぶ。か
も。干斯丁寧及覆。と。重説さ。夏を。看官作者の苦心を推
さ。衍文あぬ。か。思ひぬ。同話。休野。尔程。小朱之。か。晴賢ハ。俸。か。

吾足の宿所。潜ひ。出。より。今。ま。も。更。追。隊。の。蒐。り。も。甲。宿。小
盆。九。が。搦。捕。ま。く。俺。も。招。不。做。小。尚。且。高。嶋。石。見。小。同。席。小
團。坐。も。此。言。夏。敏。城。中。聴。へ。咱。追。捕。の。沙。汰。あ。ど。の。り。も。
量。ら。ま。む。と。憶。有。敷。小。後。見。ら。れ。行。程。五。里。小。余。さ。か。路。を。腰。を
か。き。り。小。馳。も。あ。ん。半。途。か。く。天。の。眼。つ。ま。三。池。邨。も。遠。く。ぬ。小。甲。宿。小
飲。酒。腹。さ。草。鞋。の。底。さ。減。さ。か。這。後。小。大。住。ま。ん。一。重。時
這。頭。と。進。し。の。解。小。腹。を。も。繕。つ。め。と。思。ふ。も。ら。ら。此。辺。ハ。片。山。里。の
夏。小。り。あ。れ。バ。小。商。人。の。店。舗。と。も。あ。く。然。と。已。死。ま。あ。る。ハ。但
ゆ。白。屋。小。立。寄。り。僅。小。一。碗。の。飯。が。見。え。精。人。心。神。着。一。六。恁。て。ハ
最。早。心。強。一。三。池。邨。に。到。り。あ。れ。左。ど。言。ん。右。ど。言。ん。と。尋。思。あ。ら。小
又。さ。し。知。く。住。夏。約。莫。二。十。余。町。其。日。已。刻。過。り。順。那。邨。小。歩。着。

斯夜とも見らば萱青屋根の思ふも似も傾けし。門不憶の種
冬樹あがり小弥繁茂。尚性時の侍めれば今更不忘まほせ。
言所ありけりと思ふも他も語んかもあけ找入すもあつじが先
好く家裡的の動静をば窺ひもる。後みこそと生茶垣の辺より身状
斜す。さし覗け。八出居の障子一枚開く。年紀四十のまり四り
五と見ゆる老媪の身。近江木綿の袖最狭。袴の綿衣の垢染で
申の時可あふ禪の紋も帯あさる。脊は半身日南ふ出。早
糸車以纏居。心もあつ。這方以向。以熟見ま。別人。宿
六。女房阿加あり。あか其他小人も居ると左辺右辺見ま。折
も忽地後方小人。開の珠刀柄小在。さや。あて裡へ入。ま
ぬ。這夜六復あぞと言ま。吐嗟と朱之入胆を淡の見。

まは是も。別人あ。這家の主人宿六あ。午ふ四五本の土大根を
切。肩小鉄。ち擔。朱之入の精心落着。苦味ひの揖讓
あ。這の宿六更ありけり。思ひがけ。嘆息られ。可惜生胆抜き
う。豫馴熟の宿六を。と一性小あり。あま。大既。あま。
憶ふもの。尚惻感。請小見。外。ら。ま。復。こそ鈍。り。き。上。贈
ま。バ。呵。と。ち。咲。ひ。開。の。ま。あ。り。先。頃。裡。入。の。ま。や。と。案
内。を。做。り。先。小。立。く。阿。加。日。頂。嚙。を。あ。つ。珠。刀。柄。の。ま。ぬ。ひ。を。御。食
忘。を。急。ぐ。ま。や。と。り。小。阿。加。入。立。出。く。開。の。ま。要。め。る。宿。客。あ。り。ま。さ。有
理。珠。刀。柄。を。ゆ。り。け。よ。稚。顔。ま。も。絶。ぬ。小。見。ゆ。ま。さ。小。脊。丈。の。伸。て。
通。男。小。あ。ま。ま。り。足。以。濯。く。登。ら。せ。ぬ。盥。小。湯。を。や。添。せ。せ。ん。と
り。が。宿。六。听。ゆ。よ。ふ。十。月。の。小。春。あ。る。今。日。の。南。風。最。暖。と。察

争う湯の入る視溜りの日面水あゝ洗足あへ縛りうるん俗の
藁屑搔りのめく并首一遍掃ゆ曲突小枯柴折焚むやと促しの
復見かゝる珠刀松這窓の性時おん身の遊び取あひがや牧養の
十稔許り時移り世梅まども梅あめ物の連筒の水の思ひ伝ふ汲出
那知で足は濯死めかきさの若き且推住ぬと傍の下駈を投
與る実小田夫の繕ひあ死執待態小朱之介は程多忘答の昨夜の
ちふ口漱さる顔は足さ濯ひものて船母屋小到るあぞ宿六はちや
先小登りて地元の端小一枚敷せ。賓客設の花産小半とひひ
薦ひらあも朱之介の癖ひもせと主客の席拈定まへ河加加の急ぐ
自在の竹小菟と薬罐拈拈試る信樂焼の皂茶碗小汲會茶
さ又皂兒を折敷小兼さ羞ふらち含味く喃珠刀松主の噂小

おん身のともおのまも傳聴く昔馴染るゆものを争那里(童)
ゆえ河夏の刀自あも對面して迹小積譚を做もつ听しせやと思ふ
ものら生憎小猶子の盆九ら放蕩無頼條歹死借財の債の為小田も
圃も居宅も人ふ却りて竟小无宿と做障りし其故小宿六刀松の教訓
その甲斐ゆもどく只得九累小断らまへ是等のまかあらひく可憎
晩稻の并時外あまきり今ハヤ壁言わし十月の中自みありあさ
日景短兒頂あふ遠けれ踏観音寺の那城下(住)く甚く
无沙法を做侍りぬおのいよ恙あきや你们母子のえれも云出ぬ日
あつし不好こそ訪来ぬひぬ泰小話譚のひねとり小朱之介もち味く
然之量あへ枸杞村あゝ豊宿六小奇偶の倅ひゆりて那虚小屋歎惠ま
まへ六不意も拘神をゆへ俺身の悪瘡愈くこの六母子再會の時小

値るもの怡の歡びあふ。親族却て他人の劣る憑くもさざるまきり。
夫等の故宿六奥の尚謀ど死なれども、井の後こそ意哀歎
畫の心痛嗚ゆらん。遮莫おん身管御夫婦の恙もまさる最芽出こと。
いふ河加の尚左右と曰わし、縛おとさしひき出さず、暗く宿六推禁め、河
加余譚の言どもりき。珠の杯の五六里の山路を踏く来ぬ、ハと物飲
頂かん、飯の準備を急がせやと、いふを朱之介の所り、吾今茲（来る路
あり）聊腹を調へてまべし、飯の飲りども、片山里の白屋は、酒
あり、酒と憶へり。咱の郷食心あら、鏝一差、縛足おん主人と信ふ
小半升、斗分、人買やと、笑々言へ宿六のち、哀歎々然あり、然あ、
井の言のまことと、枸杞村あり。前退ひと、去日おん身の買のま、酒

殺の残銭の預りあり、況平ある、賓客を、争り不酔、度と死と
いふ朱之介の復ち、嘆ひと、井のち、餘り、正直を死さ、今も、筆用、
左も、右も、今日、馳走あり、思へ、聊媪公、以、勞せん、飲と、酒、
宿六の納戸め、た、平より、鏝一差、握り、来り、河加の、既、聴く
ど、福富許、頓馳、上酒一升、掬、来よ、郷、朝圍、を、席、
拵、飯、大根、ゆり、焙、煎、合、め、り、其、他、の、間、曳、茶、の、胡、
和、會、酒、茶、は、足、と、是、も、て、住、ね、と、投、出、せ、青、蚨、は、河、加、の、受
採、立、ま、く、と、朱、之、介、が、一、毒、時、と、止、め、と、媪、公、よ、お、ん、身、福、富、許
到、ると、も、吾、偷、り、這、か、来、つ、る、ま、は、先、の、沙、汰、が、沙、汰、か、と、い、ふ、河、加、の
領、に、井、の、心、を、傳、へ、と、那、家、お、走、り、と、河、鍵、口、自、も、小、忠、三、主、も、
隠、田、と、か、ら、の、夏、お、就、死、觀、音、寺、の、城、より、石、ま、と、と、昨日、あり、と、

おか
 百
 何
 何
 何
 何
 何



好
 暗
 十
 金

五
 十
 位
 若
 備
 氏
 何

朱
 之
 今

留守あるふ体の入誰や譚らん心遣ひを做ぬひると言ひや
をぞら物措戸棚の堰を合つ喚ぶるの右も提挈て知るとは
厨の障子建ちや。脊門より住るあるべし。斯ふりや。朱之介
昨夜阿健小忠三等が彼物音に听けし。速く庭より馳入る。障の
便宜が約莫推し。然らんぬ阿健主僕へ姑且那地も通箇せし。
恠てこの這歌も俺百の見識。者の早あるべし折す。とちや。成
更に容色も顕き。今ちや。阿加の迹を見送る果ては。お
吾侪態々訪来。の无沙汰を勸解ん為の。あま。去ぐ。死。更の。わ。わ
あり。素。和殿の俠氣の如し。この這相譚も肩入。俺望ぐ。達。せ。
あら。六。の。利益。あ。一。骨。折。の。気。あ。と。説。話。ら。れ。て
宿六の最新。の。眉。ち。頻。單。め。開。の。何。更。り。知。り。も。其。首。より。你

と一方ある宿縁ゆ。時宜ふる。美容。諸敵。あ。ぎ。ん。や。
仔細具打牛。報知。の。甚。麻。ぞ。や。と。耳。突。つ。り。引。登。
寔。不。懸。信。丈。り。傾。小。義。容。做。ぬ。ひ。の。甲。斐。り。最。馮。
余。肝。胆。の。秘密。譚。らん。既。小。義。容。も。い。ひ。け。し。去。る。捌。月。の。某。の。日。不
枸杞村。の。你。の。方。志。早。ある。藥。は。い。し。も。是。成。和。殿。の。賜。物
あれ。争。拘。神。の。價。は。規。定。ある。割。の。他。謝。礼。せ。ぬ。措。と
思。ひ。更。の。翻。語。那。吾。足。齋。が。好。智。不。圃。親。類。滾。見。せ。つ。け
。只。入。せ。ぬ。你。も。世。話。甲。斐。も。折。乾。と。僅。三。分。の。裏。金。あ。り。
御。後。宮。の。何。更。も。是。あ。萬。般。を。推。し。ぬ。余。ハ。俺。朱。之。介。の。彼。知。み
富。居。あ。ぬ。程。做。更。も。光。陰。が。過。せ。俗。あ。り。食。容。の。ぞ。母。刀。自
こそ。骨。肉。あ。き。吾。足。齋。は。晚。稻。身。あ。る。もの。骨。膾。齒。齒。不。物。の

夾しむる負いもどき目くらましの頼去と思ふも更なる價を流
与さむ詮術あさ不可惜日次或十日う流しう然るも前月十日ありん
判官殿頼をいふの沙汰とて其日城内あり衆少年の武藝を檢覽を
とあり咱の浮浪の旅客あれも預武術の鍛錬あるは彼方なる不知者
ゆりけんを藤不擇出されし翔鳥の射の高名なりあは又餘談に似え
とも先や其日の概畧は辨長とて説示さん飲首の二箇様々
尾のまて信ありと彼杜四郎染六們と槍の試敷を弓矢前の勝負且翔
禽の射も支復かの活馬せままむ辨成咱が非を饒の説不
又りや吾侪年十三の頃文友の作景市等と俱に翔鳥の射
しにまの和殿もその所听てをらん尚童の節とふをや況鍊磨の功を
積む俺甚しと大江主僕も劣べりやれども行心く活馬せしめ

と武藝とやせまけん俺身の甚く見賤されし杜四郎等より我武
藝の二の町ありと録されしこの成るの日の進退使が竊に大江主
僕が資一貝負の沙汰ありとて甚せん國守高頼主の叔父
と辨識する原こそ暗愚の弱將あれは渠等が言は可と容るその日の
試敷に果おけり是等も仍も推量かの城中の偏執の武士依怙の輩
ゆりけん俺も馬を互に殺し請不聴はとせしもの殺し又知る
べしと單々賀曲膳主の咱本事を感下らまけん一日密に消息と
寒暖を演安否の訪しそ中へも俺武術の鍛錬あり嘆きの
文あり又不幸かて時不偶ぬ情の意も單をり然して後折れ
び六君侯不説薦る當家の家臣あふあんと憶り仍も這地も遍苗の高
久しんまが祈るの之餘に再會の時を期さめと最懇懇不書れり

是を些く慰められど、落馬の節、腰に折れ、撲傷の疼痛あり、
もよおさず、打臥せし、試敷の首尾の十分あり、阿爺のいよ
百勝、吐き出す、置し、臥房の裡に三十日、蛇に堪へて、臥通せし、復
熟と梅、もよおさず、邦君賀主の權臣あり、一回口放され、遅く
速りきり出さず、二百貫もき、三百貫もき、當家の録あり、はらん
一條相違ハハ、けき、早晩、標的とも期、がたふ臥ての
果報の候、ものり、這知れ、日、照さるもの、馳、ふふと、思ひ
さあ、今日、早疾、那里、起り、和殿の宿夜を、駭せし、は、造
作、預り、かき、金、金、と、拘神の價、二百金、合も、は、虚しく、
か、や、住ん、諸、ご、死、死、一、談あり、你、も、既、不、知、き、と、ど、烹、ても、灸、
ても、啖、ぎ、阿、爺、十、万、言、言、以、耗、し、と、可、惜、日、日、風、引、き、もの、商、量

盡てあり、不、酢、の、薬、弱、の、言、品、就、と、百、兩、金、は、も、速、與、さ、和、殿、
原より、彼、薬の、口、入、を、照、据、人あり、俱、不、國、守、許、お、人、誰、り、非、分、と、
者、ゆ、へ、死、判、城、内、を、君、賀、性、の、今、も、言、ひ、つ、と、変、あ、ら、俺、一、百、兩、知、
己、あ、ら、や、那、人、職、お、ん、程、の、我、為、と、と、做、め、と、と、主、意、既、不、定、り、
又、克、念、ハ、阿、爺、も、亦、城、内、の、病、架、を、彼、方、なる、甲、乙、不、疎、か、
も、多、う、ん、不、尙、金、銀、の、竊、取、贈、と、開、張、這、駭、を、内、應、ら、き、あ、は、竟、不、理、
那、不、狂、ら、の、其、悔、亦、と、も、さ、ら、ず、茲、ハ、三、思、加、ふ、君、賀、主、の、り、も、さ、
あり、其、他、市、井、の、司、官、等、不、備、且、些、の、賄、賂、を、遺、す、愁、訴、の、肯、以、聞、
捕、ハ、阿、爺、不、鼻、吹、空、も、も、不、緯、十二、分、の、克、次、は、ん、と、開、ハ、堂、手、の中、お、れ
ども、甚、せん、俺、腰、不、貯、の、金、薄、け、ハ、思、や、と、不、做、と、と、和、殿、這、談、
兼、知、あり、金、十、兩、の、貸、の、言、ひ、は、如、く、喋、合、と、然、して、不、作、と、俚、不、

許狀一通然呈聞也。一釋成。金は乃左右のりて。央次はさて。五
金は和殿小樂人今も此今より。奥夫婦が非如織も。耕さむとも。凍
餒の患ひゆを。永く老は糧の資とあふ。然らば是れ和殿の信義不
報み。咄り寸志あるもの。然る兼容らむ。自他の伴ひ亦熟く。甚
どや。利をも導く。小人の巧言。説惑ま。宿六は稍。听果。思
額ふ。次加えの。開の。相譚あ。知らむ。小可。原これ。佃
の。仕客ある。今も。財の。乃。死。夫。乃。不。言。春。留。守。七。夫。婦。が。永
大病。鍼灸。藥。餌。の。驗。も。あ。う。も。結。死。身。故。一。六。葬。送。中。ら。藥。札。か。り。
夫。之。号。く。の。東。西。入。一。不。那。放。蕩。者。の。金。九。郎。が。債。の。尾。三。枚。を。せ。ら。ま。う。
俺。家。先。祖。相。傳。の。三。反。五。畝。の。疲。田。も。央。八。質。地。も。出。し。水。飲。め。ぬ。
苦。一。升。囊。の。一。生。涯。樂。を。一。知。り。過。ぬ。身。が。争。う。你。十。枚。と。大。金。を

貸を餘力やゆん。這相譚ハ俺身不及び。他を自らも。便利こそ。
と。辨。次。听。せ。首。は。ち。掉。り。開。ハ。又。普。通。の。逃。口。説。吾。侪。が。言。ハ。猶。得。て。
余。云。う。知。り。も。も。恁。ま。做。さ。當。中。一。押。と。促。織。の。一。百。金。小。一。口。乘。り。
ぬ。愚。あり。疑。財。も。も。も。你。の。顔。一。十。兩。金。他。借。せ。と。も。柳。稔。の。あ。ま。ま。
莫。の。女。め。死。愁。然。知。ぬ。程。こ。も。争。々。と。浮。返。一。言。果。へ。も。ゆ。ら。
さ。ま。六。宿。六。ハ。信。と。秋。宮。次。乃。も。珠。刀。林。餘。不。教。言。う。も。や。你。の。詞。小。花。が。
持。せ。術。も。辨。次。飯。さん。と。憶。ハ。こ。も。斯。ハ。一。釋。成。識。と。念。ハ。ま。ん。が。
人。傳。あ。ら。体。の。多。あ。些。听。單。さ。ま。も。ゆ。り。開。次。言。さ。ら。う。花。あ。ま。ま。
と。冷。々。笑。ひ。の。論。一。顔。小。言。い。ま。う。朱。之。外。發。憤。一。か。も。奥。和。即。も。夫。夫。不。
ゆ。ら。も。や。詞。小。雲。が。け。け。も。ゆ。ま。り。ゆ。ら。死。之。乃。も。せ。ハ。本。と。恁。々。と。一。報。知。
さ。ま。も。物。乃。り。顔。小。曾。さ。ま。一。と。其。話。一。鉄。陷。俺。あ。ん。や。ゆ。ら。も。ま。ま。疾。

言ひぬ。口が中々ぞや。云まじや。最鳥海あり。と詰らまじ。六は。眼が
睜。否。否。和。和。鳥海あり。曩。説き。衆。少年の。試。數。の。古。も
小。可。が。傳。聞。做。は。甚。く。忤。へ。り。体。の。武。術。の。修。鍊。あり。彼。方。より。擇。ま
し。と。最。誇。負。小。宜。し。も。實。ハ。乾。又。吾。足。大。人。が。賀。殿。小。憑。听。え。り。その
日。の。族。小。入。れ。小。大。江。峯。張。と。や。の。兩。少。年。小。体。ハ。甚。く。數。負。く。遂。小
腰。さ。ち。拔。せ。賀。殿。の。又。隸。が。軀。て。便。轉。小。ち。載。く。乾。又。許
送。ら。れ。賀。殿。の。者。あ。り。し。と。其。折。体。ハ。尚。左。右。と。負。小。意。小。好。く。あ
り。暗。れ。一。久。國。守。賀。殿。小。憎。ま。れ。体。ハ。吾。足。刀。体。ハ
て。や。城。の。出。入。懼。れ。禁。門。小。あ。ま。き。し。と。夫。役。小。さ。れ。甲。乙。が
取。と。軀。て。傳。せ。賀。殿。傳。え。譚。り。傳。え。り。這。首。が。知。め。老。か。一。并。賀
殿。賀。殿。の。許。一。竊。小。消。息。せ。れ。一。六。小。可。は。や。信。が。一。是

等。小。仍。く。と。と。の。疑。十。枚。の。金。ゆ。と。も。城。の。出。入。懼。さ。体。あ。ん。小。甚。麼
あ。ら。彼。方。の。各。位。小。賄。賂。贈。る。の。術。ゆ。ん。や。亦。只。この。夏。の。と。あ。む。
你。大。和。小。り。頭。も。左。界。小。逼。留。せ。れ。日。も。好。み。風。聞。の。の。六。後。情
由。り。獄。舎。小。數。不。速。速。放。せ。ら。ま。不。良。の。夏。も。君。り。し。と。り。
その。夏。具。あ。り。と。も。あ。福。富。の。阿。健。刀。自。の。叫。ま。し。と。阿。加。が。賀。殿。
小。可。も。復。祖。所。と。恠。り。と。体。の。非。以。今。更。牧。羊。小。り。と。爭。胎。胎。知。
の。の。柏。神。の。價。百。金。ハ。ゆ。ぬ。性。時。と。諦。く。疾。乾。又。許。飯。の。一。吾。足。大。人。の
男。子。か。你。の。耐。性。ハ。ゆ。ぬ。か。襲。家。督。讓。ら。ま。ん。然。と。れ。大。人。の
貯。ハ。是。成。お。ん。身。の。物。あ。り。今。と。く。急。ぐ。ま。ん。と。且。恠。り。且。歎。は。言。は
饋。ら。ぬ。愚。直。人。の。坐。あ。が。ら。不。説。論。を。賀。殿。之。分。ハ。稍。听。馬。又。由。入。去。る。日
試。數。の。場。あ。り。思。は。味。嚙。は。け。り。疾。の。實。知。ま。ら。夫。と。は。不

大和の不始末左界と浪速のまきども 那河建俣が元端の云々
喋りて俺下腹を見透さす。這宿六が左右と不の字がりあぞ
めんどんと思ふ元自有製法の檻取者更小阿容の面容もせし小勝が
找め尚りや。や更只今つらぬ成傳聞の錯とあるかよくしきで
咱の証らも甚ぞや且れ推量小和殿私小阿容と計り
かの百金に踏んが為小言に左右小虚託。俺許の妨を做こそめんを
らの今まで許を否とあへ悲訴の一葉の姑且聞。俺も和殿より死
まらう去る日件の其樂ハ俺吾足齋小虚とせあぞ。俺虚とせハ和殿
あり仍其折手實小和殿をも照据人とも然ハ吾足が約を破れ
二百金に虚とせハ和殿何れも活様。贖いハゆべりも是照据人の
關とて道理小あは斯のぞ。目今金に受合へり。俺も金の調ハ

お預け拘神が返さる。俺他小售り錢おせん疾と金まれば薬も
虚とせや甚ぞやと巧言小説誇まハ宿六ハ困り果す。首が折つ
ては揉み珠刀折開のまう人ま。小可何等の平次つて。吾足大人ハ
荷擔のま。お身の為ふたう死なせ。伎倆んや且かの拘神も
金ぞ。彼折他人小售り與。そが價の滞ら。咱何れも活様で你不
損ハ甚さん。さハ勿論のま。其買主ハ乾又あり。既小你ハ納得
は。那知小親合。六十餘日ハ過。俺もや俺肩ハ振け
し。証人あり。今更小辨新。云ハ理と。思ハま。今ハ
十萬のり。你的望ハ。這ハ号辨ハ要。然と。只
カ飯え。累大人の折乾と。賜。金三分。是ハ咱が自腹切て
金一分。増加。圓金一両。ま。せん。今更。咱も損。は。你。受。

恩もか。是れは。構神一條の筆帳。消す欲も。と。いひ。け。再。納戸。退。元の。圓金。一枚。會。出。せ。て。取。率。と。し。て。渡。す。朱。之。分。は。ち。見。し。の。い。ま。受。も。吐。裏。の。思。ふ。か。這。老。悖。が。頑。有。る。要。あ。ら。口。以。酸。さ。る。ま。で。不。角。口。あ。ら。ぬ。と。し。て。釋。威。渠。小。知。ま。す。と。い。ふ。物。小。あ。ら。ぬ。も。か。聊。あ。れ。ど。も。一。兩。金。の。是。ら。否。と。受。も。ゆ。べ。遂。小。立。端。以。夫。と。し。て。元。價。小。做。ぐ。ら。え。ま。や。ゆ。ん。と。母。思。然。ら。ず。辞。以。和。ら。け。俺。あ。る。言。品。あ。ら。ぬ。と。い。ひ。言。へ。と。も。一。理。ゆ。れ。老。と。い。ふ。人。を。苦。め。と。し。て。迷。不。面。以。赤。め。合。ん。の。劇。熱。甲。斐。あ。れ。者。小。似。ら。ず。姑。且。和。殿。の。辞。小。就。く。構。神。の。一。支。は。さ。一。圍。で。遮。莫。よ。の。傳。乾。又。許。飯。り。て。阿。爺。の。面。を。見。え。忘。ん。と。思。ふ。構。神。の。更。次。再。び。念。ひ。幾。さん。御。這。垂。想。以。拂。ん。ぬ。他。郷。走。る。如。か。の。伴。和。殿。と。和。解。ま。す。一。圓。金。と。は。ぬ。り。箇。の。半。金。も。盤。纏。み。足。た。ら。ぬ。も。あ。け。ま。と。先。京。師。

ち。と。赴。れ。と。那。知。の。知。音。以。訪。ひ。試。尚。走。る。も。駐。ると。も。渠。等。が。意。見。小。任。せん。と。い。ふ。宿。六。貞。談。の。敢。ま。す。争。む。を。開。左。も。右。も。隨。意。と。い。ふ。の。疾。金。以。収。ま。や。と。い。ふ。潮。小。朱。之。分。の。件。の。金。以。受。令。の。肌。着。の。長。財。囊。小。藏。て。胸。を。結。び。け。る。夫。より。前。條。小。阿。加。加。の。吟。附。ら。ぬ。酒。一。壺。と。此。の。酒。菜。以。買。副。の。脊。門。より。飯。と。し。て。庖。厨。小。け。り。既。小。主。客。の。問。答。大。槩。ハ。泄。所。折。々。け。ま。ぬ。も。来。ぬ。一。葉。時。猶。憶。と。い。ふ。程。小。俣。王。半。胸。許。小。あ。言。果。と。し。と。念。ふ。酒。以。温。め。敷。を。釘。小。侶。小。折。敷。小。ち。載。と。い。ふ。携。出。の。含。笑。と。い。ふ。我。夫。小。急。促。と。い。ふ。言。ま。す。金。剛。草。履。を。踏。切。と。い。ふ。走。り。ぬ。と。い。ふ。東。西。調。と。い。ふ。ま。の。せ。と。思。ひ。小。你。等。二。個。の。舌。戦。ひ。と。い。ふ。ゆ。へ。知。ぬ。と。い。ふ。用。牙。立。ま。す。と。い。ふ。吾。備。が。自。言。と。い。ふ。冷。ま。さ。り。小。憚。威。小。男。子。当。ら。ず。碎。ら。ぬ。俗。の。常。言。小。泄。ま。や。け。ん。頼。の。和。財。最。末。

かど。搦料理の田舎びと。京師人ある。你的口は尚飽かぬ。思ふに
先觸りあけぬと薦ぐ。酌は合ふも。款待態小朱之介の歡びを舒
謝しりや。這はち圖せぬ。其く造作不預り。侍りぬ。叟の創て
献む。とり宿六も。嗟ひ。然あり。俺先主甲斐小毒味し。その世入。應莫
か。身の酒量の識りぬ。箇まかりの小盃。斗分人の面外あり。是よりか
傍ある。茶碗が合つ。茶は。損つ。節せ。飲。献。不。主。客。芳。ら。ぬ。強。飲。
家ある。酒外せぬ。阿加加。献。酬。冬の。吹。の。口。小。花。咲。く。雑。談。多。辯。小。
思ひ。與。以。催。ま。ぬ。堀。の。酒。ま。日。景。ま。早。晚。の。程。ち。傾。江。未。下。牌。小。あ。
あ。六。航。阿。加。加。心。ほ。盛。知。ま。夾。の。飯。を。辨。じ。受。く。朱。之。介。の。飽。ま。腰。を
肥。け。浩。折。ち。ら。外。面。足。音。ち。ま。者。あり。是。則。別。人。あ。る。も。走。取
と。唱。し。村。長。の。使。あ。る。ま。来。り。ま。る。小。麻。口。り。講。し。声。は。ぬ。り。立。り。

宿六叟の家あり在る。今觀音寺の城内より。和郎小御守の音ありと。
處小召状の着しを疾風の準備。村長許来ぬ。いと宿六駭と。
并何ま。か。も。彼。城。内。より。召。状。と。六。等。宗。あ。ぬ。と。あ。る。追。着。迹。
り。宗。あ。ぬ。是。宗。の。より。長。殿。克。小。傳。ぬ。ひ。ぬ。這。の。劔。旁。ぐ。
信。死。と。心。答。り。号。六。件。の。走。取。の。真。跡。其。首。の。変。ハ。心。は。り。尤。大。
急。の。要。用。あ。ん。小。遲。々。再。小。可。が。足。を。か。運。り。せ。ぬ。ひ。と。後。次。を。一。の。
又。處。く。原。未。一。方。と。馳。去。り。ける。業。下。主。人。宿。六。の。あ。ち。も。大。兄。息。次。の。死。
阿。加。加。今。の。次。所。つ。る。觀。音。寺。より。處。の。口。只。宜。変。と。も。思。ひ。ま。復。瀧。子。の。
盆。九。席。が。條。更。に。變。為。知。り。小。父。の。名。知。さ。引。く。次。左。ま。き。右。ま。き。國。守。の。
嚴。命。性。を。し。て。悔。ひ。が。副。衣。の。綿。衣。次。疾。か。ぬ。そ。同。ハ。俺。ハ。ま。つ。り。盛。で。
腹。を。調。ん。嗟。世。話。と。立。躑。け。八。朱。之。介。も。驚。た。依。ハ。昨。夜。の。一。件。の。

釋と申す這頭(河津せり)此宿六を召るゝ然らん六掩りま。
這里小長坐の最殆一走り如しと思ふぞ宿六夫婦不對ひくふや。
听せど死の那城内より召まきく更の住もあまや吾侪も所要の果ま。
今より急ハ陽のち三里四里走りて草鞋一足惠贈ぬ(俺もや發
足まけん)と去まきま宿六の強くまき草鞋留せりる。隨小點黙く
徳ハ別まありけり。茲ハ袂分あハ再會ハ期(ごころ)あハ言でもの
まあから你京まき怎地まき住着の百のゆりも。昨非ハ悔(か)念ひぬ。
只正直ハ肯赴とく。這方ハ誘ひまひそ人の耐性ひとぞや。とりハ河
加ハ語ハ接(つ)尚左右と説諭(せつごん)ハ掏飯三四と草鞋一足合副(あはせ)疲(つか)
朱之介受(う)まの。果敢(はつ)まきくハ心(こころ)せむ。脈草鞋を踏試(ふ)袂包(たもと)と菅笠(かぶ)
左右ハ取(と)りぬまき。宿六急(いそ)不(な)喚(わ)駢(へん)め。珠刀(たまやいば)林(はやし)おん身(み)京都(きょうと)の方(かた)起(た)んと

做(しよ)め。背門(せいもん)の細道(こせだう)南(みなみ)ふとく。十八九町行(やちゅう)ぬ。海道(かいだう)出(で)るの捷徑(せつけい)ゆ。
這(こ)の你的(おん)の稚児(わかご)頂(うへ)の穂(ほ)ハ熟路(じやくろ)あ。忘(わす)れまきぬ。其(その)甚(いた)く。とらまき
ち笑(わら)む。朱(しよ)之(の)介(の)之(の)ハ。勸(すす)む。演(えん)別(べつ)き。報(ほう)く。背門(せいもん)よりぬんとまき。とら。但(た)
見(み)る。傍(わら)の小屋(こや)の裡(うち)ハ。頭(かぶ)の馬(うま)敷(敷)き。死(し)あり。日(ひ)毎(まい)の鉢(はち)飽(あ)らけん。肥膏(ひこう)
膠(か)く。遅(おそ)く。氣(き)あ。人(ひと)俟(まち)負(お)不(な)嘶(し)めり。登(のぼ)時(とき)朱(しよ)之(の)介(の)念(ねん)ふ。今(いま)日(ひ)宿(しよ)六(む)
哄(わら)談(だん)ハ。約(やく)莫(も)十(じゆ)枚(まい)五(ご)枚(まい)の金(かね)ハ。千(せん)回(かい)寸(すん)陰(いん)耗(こう)さ。ト子(こ)の免(まぬ)と思(おも)ひの。僅(わずか)み
圓(まる)金(かね)一(いち)兩(りやう)六(む)分(ぶん)の。功(こう)薄(うす)く。然(しか)る。此(こ)こ。這(こ)の逸(い)物(ぶつ)ゆ。是(こ)れ。を。の
あ。住(す)ん。ぬ。一(いち)路(ろ)沿(え)の。旁(わら)資(し)け。今(いま)て。後(のち)市(し)小(こ)售(う)と。ま。か。の
錢(ぜに)ハ。つ。天(てん)使(し)倅(せ)ハ。俺(おれ)不(な)賜(たま)ふ。受(う)ま。ん。ハ。愚(おろ)かり。猶(なほ)豫(よ)ま。ま。ま。と
肚(はら)同(どう)ハ。肚(はら)不(な)答(た)ふ。不(な)良(らう)の本(ほん)性(せい)折(しや)ら。宿(しよ)六(む)阿(あ)加(か)等(とう)ハ。處(ちよ)の。召(め)か。心(こころ)慌(わら)く。是(こ)れ
等(とう)見(み)か。違(ちが)ぬ。朱(しよ)之(の)介(の)ハ。間(ま)を。ぬ。尚(なほ)東(とう)西(せい)と。見(み)ま。る。靴(くつ)ハ。草(くさ)屋(や)小(せう)

措ちけん。這ゆらうあはる。三枚の延る。索る。見出し。こま
倅ひと。擇命。延を馬の背に投り。索も。捨。栗捷の靴絆か
搦り引出し。身も。輕き。ち乗。強あ。細道。南。さ
てぞ。馳らせけ。理ある。朱之。年十三。屬同好の。年。就。津
仇作。日。高。景。市。等。と。侶。俱。不。牧。馬。不。馴。修。鍊。乃。今。赤。體。馬。ふ。ち
乘。る。更。尚。韃。上。不。在。り。ど。看。官。前。後。を。點。檢。令。程。不。宿。六。八。倉。卒。の
召。不。物。令。也。村。長。許。起。俱。不。觀。音。寺。不。到。頂。ハ。既。不。て。陽。ハ。昏
り。又。も。止。不。れ。ゆ。ら。さ。先。城。下。不。旅。宿。不。覺。り。城。内。不。ぞ。え。ゆ。れ。ハ
次。の。日。市。井。の。司。官。一。口。鬼。太。夫。の。沙。汰。と。聞。文。廳。不。招。入。り。告。示。さ。る。一。條。ハ
前。版。四。五。回。不。具。あ。れ。ば。釋。有。く。茲。不。り。也。這。も。看。官。推。定。一。是。不
仍。く。宿。六。八。盆。九。郎。朱。之。分。等。り。人。の。吾。足。齋。父。女。横。死。復。か。の。大。江

成勝。青。海。波。の。小。刀。の。ま。ま。と。惣。て。の。夜。の。形。勢。不。創。一。听。王。不。ゆ。
且。駭。且。悔。然。ら。ん。朱。之。分。昨。日。捕。も。不。れ。不。咱。井。心。も。金。二。兩。不
與。一。常。言。不。不。偷。見。不。糧。取。せ。愆。不。悔。ら。さ。じ。ぞ。愚。あ。ま。と。思。不
あ。ら。今。更。不。言。不。也。口。を。甜。く。居。け。信。く。盆。九。郎。罪。極。と
竟。不。首。不。劍。ら。ま。緯。威。落。去。あ。久。我。程。も。不。宿。六。八。三。池。の。宿。不
飯。不。也。這。回。の。首。屋。不。箇。捕。と。母。房。阿。加。不。譚。ま。阿。加。不。听。々
歎。息。一。及。人。あ。ら。盆。九。郎。の。死。を。悼。の。念。ひ。あり。余。て。後。不。復。り。不。か。
い。ぬ。日。お。ん。身。が。觀。音。寺。へ。と。性。の。ひ。も。程。不。背。門。あ。る。小。屋。不。偷。見。入。り。
馬。不。盜。ち。き。傳。り。不。き。吾。偷。程。歷。く。見。ゆ。と。ち。腹。立。ど。も。詮。術。不。疾。長
殿。許。訥。人。不。と。思。不。事。の。ら。又。り。念。六。那。珠。刀。林。の。生。立。好。く。不。噂。も。听。つ。ま。ハ
倘。彼。人。の。不。為。お。も。や。と。心。就。て。不。あ。り。不。悔。く。緯。の。譏。ら。ま。の。不。お。ん。身。の。飯。不。俟

以年之命
まごり馬子
いんげん
む馬の
まごり切して
おかしき
中
又



けんそる
山

あまの
かた

いぬ
山中
中
あまの

あの段の本文ハ
第六十二回ハ
百香の豪奪
あまの三穴樹
間小殿



腰九郎

園七

あまの

あまの

竹葉
研下福
去吉州市

特別
4308
5止